

久住電気 株式会社

DX宣言書

2025年4月24日
久住電気 株式会社
代表取締役社長 久住 健

□ 経営理念

「人合力(ひとわちから)」を根幹とし、一人ひとりの個性・知恵・技術を結集することで、大きな力を生み出します。「じんざい」は単なる「人材」ではなく、「人財」として捉え、互いに信頼し支え合うことで強固な「和」を築きます。人を活かし、育て、見極める力を磨き続け、「人合力」を最大限に発揮し、社会に貢献する企業を目指します。

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

◆ デジタル技術を活用して業務の効率化を推進し、働き方の柔軟性を高めるとともに、社員一人ひとりの声やアイデアを活かし、主体的に成長・改善を続けられる組織を目指します。

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ~ 2025年10月)

戦略 「現状把握と課題整理」

- 施策
- ① DX推進を円滑に進めるためにメンバーを選出し、DX推進チームを発足
 - ② DX宣言の趣旨・目的とその重要性を共有し理解を深めるため、DX推進チーム向けに外部講師による勉強会を開催
 - ③ 総務・経理業務の標準化・効率化に向けた現状把握のため、既存システムの活用状況を調査
 - ④ 上記調査を基に課題を特定し、解決に向けた取組優先順位を設定
 - ⑤ 電話対応の効率化のため、スマートフォンと連動可能なIP電話交換機の更新計画を策定

➤ フェーズ2(2025年11月 ~ 2027年4月)

戦略 「総務・経理業務の標準化と効率化」

- 施策
- ① 業務の標準化を推進するため、業務プロセスを可視化し、引継ぎルールやマニュアルを整備
 - ② 業務の効率化に向けて、システム間の連携を強化
必要に応じて、一連の業務プロセスを考慮した新規ITツールを導入
 - ③ DX推進チームが中心となり業務改善を実行し、関係部門からの意見を収集
 - ④ 収集した意見を基に取組内容の見直しを定期的に行い、状況に応じた柔軟な業務改善を推進
 - ⑤ PDCAサイクルを回すため、DX推進チームの定期報告会(取組状況や課題を共有する等)を開催
 - ⑥ フェーズ1で策定したIP電話交換機の更新計画を実行し、場所を選ばない柔軟な内線システムを構築

➤ フェーズ3(2027年5月 ~ 2028年4月)

戦略 「社員のアイデアをもとにDX推進が加速する組織づくり」

- 施策
- ① フェーズ2で実施した業務標準化・効率化の取り組みを基に、全社的なDXの浸透と継続的な業務改善を推進
 - ② 社員主体の業務改善に向けた仕組みづくりに向けて、社員の声(業務改善に繋がるアイデア等)を収集
 - ③ 収集した社員の声をDX推進チームにて業務改善案として整理し、経営層に提案

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 紙の削減率 : 2023年度比 15%(~2028年4月)